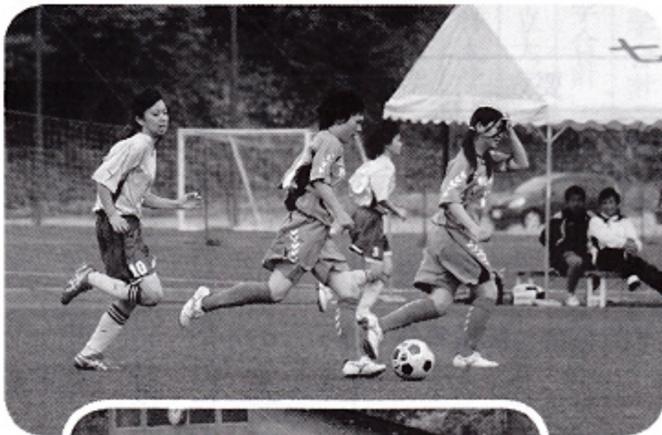


# 同窓会会報

発行 石川県立大聖寺高等学校同窓会 <TEL 0761-73-2771> <FAX 0761-75-7117>  
<E-mail seikobog@dsjhs.jp>



6月6日 星稜戦



皆で記念撮影



第2回女子ジュニアサッカー教室

## 女子サッカー部創設される！

昨年のなでしこジャパンのワールドカップ女子サッカーの優勝を追い風に、準備期間を経て昨秋に女子サッカー部が創設されました。部員6名で始まり、現在16名の部員が日々練習に励んでいます。今年の県総体サッカー競技（女子）では星稜に0対8で敗れましたが、これから練習・経験を積んで活躍することが期待されます。また、学校開放講座では地元小学生を対象に女子ジュニアサッカー教室を開き、南加賀地区の女子サッカーの底辺拡大に向けて活動を始めました。大聖寺高校が南加賀の進学校としての役割を果たすだけではなく、新たなスポーツの推進高としての一歩を踏み出しました。

## 平成24年版会員名簿が発行されます。

5年ごとに改訂を行っている会員名簿が今年7月中旬に発行されます。名簿発行に向けて、いろいろご協力頂いた皆様にお礼申し上げます。今後、この名簿が有効活用され、同窓会活動がより活発になることを願います。この名簿をご希望の方は直接同窓会事務局までご連絡下さい。送料込みで4,500円でお分けます。

この事業は㈱サラトに委託して行っております。名簿の購入や賛助金の依頼で不愉快な思いをされた方も少なからずいたようです。この場をお借りしてお詫び申し上げます。また、名簿発行に関していろいろご意見も頂戴しました。今後検討し、生かして行きたいと考えております。

平成23年度 一般会計決算報告

平成23年度 一般会計決算報告

今年度の会報発行は今回の1回となります。総会後の会報発行はありませんので、平成23年度の決算報告を載せておきます。決算報告にあるように今年度は北國銀行への返済金があります。平成25年4月に完済の予定です。

収入の部

平成23年4月1日～平成24年3月31日

科目	予算額	決算額	増減額	摘要
入会金	2,340,000	2,340,000	0	234名×10,000円(第63回卒業生)
終身会費	2,440,000	2,370,000	△70,000	(234名+3名)×10,000円
繰越金	676,074	676,074	0	
諸収入	80,000	187,484	107,484	利息、英語弁論大会協賛金、百年史販売
百年史会計残金	0	235,694	235,694	百周年事業・百年史会計残金
合計	5,536,074	5,809,252	273,178	

支出の部

科目	予算額	決算額	増減額	摘要
総会費	70,000	81,698	11,698	往復ハガキ、お茶代 懇親会補助等
会議費	30,000	24,473	△5,527	往復ハガキ、お茶代等
事業費	1,500,000	1,270,271	△229,729	英語暗唱大会、会報65号、卒業記念品
事務費	170,000	156,152	△13,848	NTT回線料金、電話料金、郵送料等
事務手当	1,030,000	1,030,000	0	
各地区聖高会連絡費	60,000	54,000	△6,000	東京、近畿聖高会総会出席 交通費補助
慶弔費	50,000	40,000	△10,000	弔費
雑費	11,000	13,486	2,486	北國新聞広告等
予備費	167,957	0	△167,957	
基本財産積立	0	0	0	
返済金	2,137,117	2,137,117	0	借入金返済(北國銀行)
退職金	300,000	300,000	0	事務局 田中さんへ
退職金積立	10,000	10,000	0	退職金積立
合計	5,536,074	5,117,197	△418,877	

収入合計 5,809,252 - 支出合計 5,117,197 = 次年度繰越金 692,055

監査報告書

平成23年度一般会計及び百周年記念誌委員会会計について帳簿及び証拠書類等を精査したところ、整備され妥当であるものと認めます。

平成24年5月14日

監事 大丸谷 清治   
 監事 岡本 正勝   
 監事 平松 静代 

教職員の異動	
退職者	東 綾子 養護教諭
離任者	細道 政祥 教頭 金沢伏見高校
	朝本 学 教頭 加賀聖城高校
	山田 卓也 国語 小松明峰高校
	荻野 隆 数学 小松高校
	寺西 誠一 保体 野々市明倫高校
	嶋崎 文彦 英語 羽咋高校
新任者	鈴木 一恵 教頭 加賀聖城高校
	垣地 正樹 教頭 大聖寺高校
	浅井 悦子 国語 小松明峰高校
	石坂 直樹 数学 小松工業高校
	廣田 学 数学 野々市明倫高校
	油谷 憲治 保体 新採
	畠山 瑠理 養護教諭 新採

平成23年度卒業生の大学合格状況

今年の3月に卒業生235名を送り出しました。1学年6クラス規模の中で国公立大学70名の合格者を出しました。本人の頑張りはもちろんですが、担任を初め教科担当の先生方の粘り強い指導の賜と考えております。今年には金沢大学や石川県立大学などの推薦合格を出すなど国公立の推薦合格が増えた年でありました。また、浪人生も7名合格し、1年の苦勞が報われました。国公立の内訳を見ると70名中55名が北陸三県の大学で地元志向が強くなったことが伺えます。難関私大の合格者数は伸びず苦戦しました。学費など経済的な面で敬遠されたことが一因と考えられます。日本経済がなかなか上向かないことがこのようなどころにも現れているようです。

平成24年3月 卒業生の進路状況 (合格延べ人数)

平成24年3月28日現在

大学名	国立大学										国立大学合計	
	山形大学	山梨大学	上越教育大学	新潟大学	富山大学	金沢大学	福井大学	信州大学	静岡大学	岡山大学		東京学芸大学
人数	1	1	1	3	17	14	4	1	2	1	1	46

大学名	公立大学								公立大学合計	国公立大学合計	
	横滨市立大学	金沢美術工芸大学	静岡文化芸術大学	石川県立看護大学	石川県立大学	福井県立大学	富山県立大学	都留文科科大学			尾道市立大学
人数	1	5	1	3	1	9	2	1	1	24	70

大学名	私立大学																													
	早稲田大学	慶応大学	明治大学	立教大学	青山学院大学	中央大学	法政大学	東京理科大学	芝浦工業大学	国際基督教大学	日本大学	専修大学	津田塾大学	東京女子大学	昭和女子大学	国士舘大学	関東学院大学	東海大学	帝京大学	東京都市大学	フェリス女大	目白大	帝京平成大学	創価大学	神奈川工科大学	武蔵野大学	東京工科大学	金城大学	金沢医科大学	金沢学院大学
人数	2		3	1	2	3	2	3	1	1	4	2	2	1	2	1	1	14	2	1	1	2	1	1	1	1	1	12	1	15

大学名	私立大学																													
	金沢工業大学	金沢星稜大学	北陸学院大学	北陸大学	仁愛大学	福井工大	愛知大学	中京大学	岐阜女子大学	中部大学	愛知学院大学	東海学園大学	常葉学園大学	岐阜経済大学	藤田保健衛生大学	名古屋商科大学	名古屋文理大学	名古屋外国語大学	名古屋女子大学	名古屋学院大学	名城大学	鈴鹿医療科学大学	関西学院大学	関西大学	同志社大学	立命館大学	京都産業大学	近畿大学	龍谷大学	京都外国語大学
人数	61	33	4	15	4	8	1	6	6	2	2	7	1	1	1	3	1	1	5	1	1	3	1	9	3	10	15	7	13	8

大学名	私立大学																		私立大学合計											
	関西外国語大学	京都女子大学	同志社女子大学	京都学園大学	京都橘大学	佛教大学	京都光華女子大学	京都文教大学	花園大学	大阪観光大学	大阪商業大学	阪南大学	大阪学院大学	大阪経済大学	大阪樟蔭女子大学	梅花女子大学	帝塚山大学	ノートルダム大学		追手門学院大学	桃山学院大学	神戸親和女子大学	甲南大学	甲南女子大学	神戸学院大学	神戸女子大学	武庫川女子大学	奈良大学	東亜大学	広島工業大学
人数	5	5	1	2	6	1	3	1	1	1	2	1	2	2	1	1	1	1	1	3	1	2	3	3	7	8	2	1	1	387

クラス会だより

「八聖会」郷里にて開催

去る5月20日山代温泉「瑠璃光」にて31年卒「八聖会」が参加男女67名にて盛大に開催されました。

久方の対面で互いに会話が弾む情景は既に受付のロビーから始まり、加茂谷君の司会で始まった懇親宴会から、貸し切りクラブでの二次会、別和室での三次会、と将に尽きぬ会話が深夜まで続きました。また中締め前の全員での「校歌」と「高校三年生」の斉唱は、瞬時に時空を超え全員が当時の気持ちに戻った感動的な場面となりました。

翌日は自由参加で希望者を募った30名で変貌著しい金沢を体験しようと、帰宅組とは再会を約して別れ貸切バスで宿を後にし、金沢在住の同期生の案内を得て、まず全国に名を馳せながら知る機会の無い金箔工芸の会社を訪ね金箔制作秘技や製品などに感嘆し、次いでテレビで眼にしていた東茶屋街の町並みを自分の眼と足で確かめ、昼食は何と有名料亭「石亭」での松花堂弁当を味わい、食後は「兼六園」を含む三コースをそれぞれ金沢ボランティアガイド付きでの観光、と歴史と文化の融合した金沢を贅沢に満喫した一日でした。月曜のため「二十一世紀美術館」は外観のみが少々残念でしたが。

準備とお世話をお願いした郷里世話人の皆様には感謝！感謝！です。有り難うございました。

記 あずまのりと (S31卒)

東京聖高会報より抜粋

# 総会に集おう!

総会を左記要領にて開催致します。今年度より平成8年度卒業生から平成10年度卒業生の若手3学年の幹事の方が運営を取り仕切ります。幹事の方々を盛り上げるためにも、多数の方のご参加をお待ちしております。また、OBの教員も多数参加する予定です。出席される方は友人にもお声かけして申し込みされるようお願い申し上げます。参加予定の幹事は以下の方々です。

平成8年3月卒  
日輪道明 前川(佐々木)瞳  
河野真弘 三味美帆子  
西野(松元)めぐみ 西村隆廣

米元 錦城 様 (昭和54年卒)  
國本 正勝 様 (昭和41年卒)

## 終身会費納入者

木埜下(菅村)恵 三代健一郎  
掛山拓朗  
平成9年3月卒  
林 卓真 中谷隆佳 川北成一  
上木孝久 小谷正行  
平成10年3月卒  
奈良本篤史 阿部(東野)未知  
庄司(坂井)里美 津原隆佳  
山本友範  
敬称略( )内は旧姓

平成24年1月以降の納入者は以下の方々でした。有り難うございました。



平成24年度  
石川県立  
大聖寺高等学校  
同窓会総会・懇親会

---

**日時** 8月11日(土)  
総会/午後5時30分より  
懇親会/午後6時より

---

**会場** 長生殿(加賀温泉駅前)

---

**会費** 6,000円(2次会は別途)

---

多数の参加をお待ちしています。  
●主幹事 平成8年3月卒業生  
副幹事 平成9年3月卒業生  
" 平成10年3月卒業生  
石川県立大聖寺高等学校  
同窓会長 天日 喜代治  
学校長 西出 隆則

---

出席者はお早めに電話でお申込み下さい  
**連絡先** 大聖寺高校同窓会事務局  
TEL 0761-73-2771  
FAX 0761-75-7117  
本校ホームページでもご案内しています  
大聖寺高校 検索

## 『琵琶湖での聖四会』

三谷 峻平

穏やかな湖面に水鳥が線を引くように通り過ぎました。6月12日聖四会が開催された宿からの景色です。

隔年開催されているこの会は、今年はふるさとを飛び出し琵琶湖畔の宿を選びました。称して『聖四会IN琵琶湖』。

聖四会とは高校昭和27年卒の四回生、それに旧制中学、女学校入学の所謂併設中学卒業生を加えてのクラスメートのこと。戦後の混乱期の制度に振り回された世代の仲間です。

今回の参加は総勢55名、全員元気を鼓舞するが如く集まってきました。地元の

北陸からの36名は貸切バスを仕立てての参加。途中近江商人の里五箇荘町にて歴史探訪、更に三井寺の参詣を済ませ宿に到着。すでに関西、関東、東海の諸君は到着、うれしい再会です。中でも遠く沖縄から体の不自由を圧して参加したO君には感激でした。配られた全会員を掲載した名簿を見ながら「こんなに多くが他界したか」と顔がくもります。

懇親会に先立ち新たに名簿に蓮の印が付けられた友の冥福を祈り宴会へと進みます。つもる話の多さにワイワイ、ガヤガヤのたっぷりの二時間が過ぎて行きました。まだそれにも足りず二次会、ここでは聖四会のお母さんことS女子のお手製「柿の葉ずし」が運ばれて全員拍手喝采。ウマイウマイとまたたく間に。歳

の割によく食べるものです。ほかに各部屋へも配られたとか、その心配りがうれしいではないですか。感謝感謝。楽しい一夜が過ぎ、二日目は琵琶湖クルーズとシャレ込みました。静かな湖、アメリカンナイズされた豪華船ミシガン号がゆっくりと湖面を滑ります。「速度は？」の問いに元海上自衛官のK君「5ノットぐらいかな」のんびりと心を洗うような一時でした。下船するやお次は比叡山延暦寺へとバスは走ります。その会館にて精進料理を味わった後、法話を頂戴し一同厳かに合掌、「心に明るい灯を」を実感し山を去りました。

多彩なスケジュールもようやく終盤、京都駅にて遠来組と別れる時です。予定通り午後四時、満席だった車内が歯抜けの様になり惜別の感一しおです。一宮市のH君より写真と共に届いた手紙には「地元に戻るバスを万感の思いを込めて見えなくなるまで手を振っていた」と、又京田辺市のN君の葉書には「別れの際「楽しかった、ありがとう。元気でまた逢おう」と握ってくれた手の温もりで友の有り難さを感じ涙がこぼれた。ふと気がつく隣のO女史も涙していた」とあった。みんなの感動で今までのつかれが吹っ飛んでしまったのは私のほか幹事役のK君、N君も同様、お世話した喜びを今感じとっております。「あー楽しみが又一つ減った」写真を見ながら今その余韻に浸っていると。歳